

学校と地域を結ぶ太鼓活動

～地域に根づいた活動を通じて～

【宇部市 厚東中学校区】

地域の概要

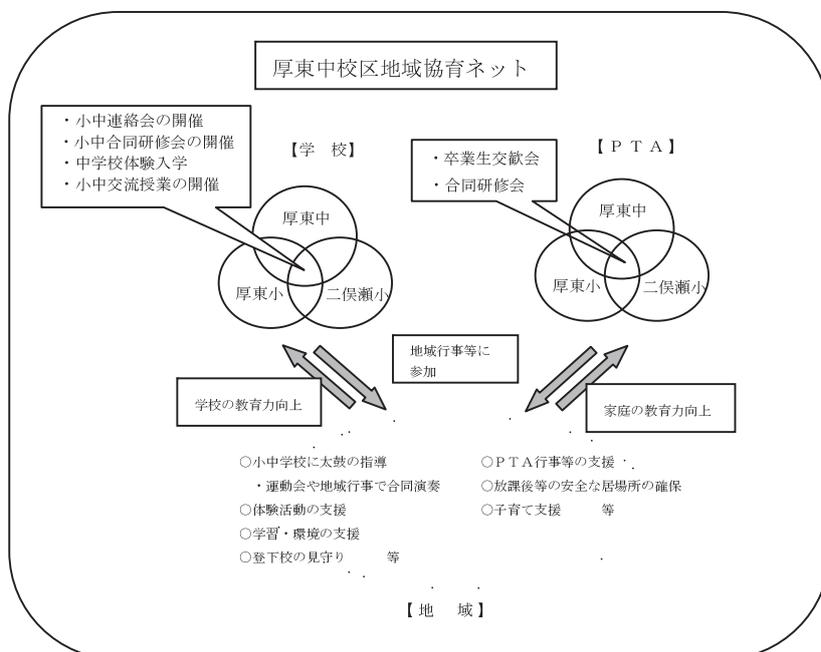
厚東中学校区は、宇部市の東北部に位置し、二俣瀬小学校区と厚東小学校区からなっています。二俣瀬地区は江戸時代に宿場町として栄えたところです。一方、厚東地区は鎌倉時代に活躍した厚東氏のゆかりの地で、霜降城跡をはじめとする遺跡が数多く残っています。

人口	3,207人	
世帯数	1,506世帯	
対象校及び 児童生徒数	厚東中学校	66人
	二俣瀬小学校	43人
	厚東小学校	58人

両校区とも中山間で豊かな自然に囲まれ、地域活動が活発で子どもとのかかわりに理解のある地域の方が多く、教育環境に恵まれた地域です。

組織の内容

厚東中学校区においては、厚東小学校・二俣瀬小学校・厚東中学校に学校運営協議会が設置され、三つの運営協議会が連携して「厚東中学校区地域協育ネット」の推進母体となっています。学期ごとに会議を設け、学校と地域の情報や課題について話し合うなどの情報共有を図っています。また、各学校で行われる講演会や地域参観日に相互参加するなど、小小連携や小中連携を推進するとともに地域間の交流も深めています。



さらに、ネットワークの深化・充実に図るために、各校区の地域の方や子どもにかかわっている地域団体の情報、豊かな自然の活用方法などを持ち寄り、それぞれの学校や地域での取組を共有化していくこととなりました。

このように、各校区とも放課後子ども教室や学校支援ボランティア活動等で多くの地域の方が様々なかかわりの中で、子どもたちの体験活動や学習支援を行うなど、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の下、地域ぐるみで子どもたちの育ちや学び、そして学校を支援しています。

特色・重点的な取組

厚東中学校区では、太鼓活動を学校と地域の連携を図るためのツールとして位置付けています。この太鼓活動を通じて、地域から学校へ、また学校から地域への様々なかかわりの中で、支援の輪のつながりと広がりが厚東中学校区全体を盛り上げています。

子どもたちも地域の一員という自覚をもち、地域への愛着と地域の方への感謝の気持ちが自尊感情を高めています。

主な活動の紹介

【太鼓活動】

厚東中学校には、生徒有志で結成された和太鼓と樽太鼓の「厚東中夢太鼓」があります。今年度は、宇部市で開催された「山口県PTA研修大会宇部大会」においてオープニングを飾り、大会を盛り上げました。気迫あふれる演奏、一糸乱れぬばちさばきに、初めて鑑賞する大会参加者は「すごい」、「素晴らしい」という感嘆の声を上げ、感動して聞き入っていました。

中学校の運動会では、地域おこしグループの「二俣瀬の樽太鼓」、「らぶ厚東」との共演や、各小学校の運動会においても演奏しているほか、中学生による小学生への太鼓指導も行っています。長年にわたる地域の方の熱心な指導と生徒の努力が実り、ばちさばきも目覚ましく上達し、今後、ますます期待が持てます。

二俣瀬小学校では、酒樽を利用した樽太鼓が中心で、地域の方々の熱心な指導の下、子どもたちは一所懸命に練習しています。今年度も宇部市が開催する音楽祭や、地域行事である二俣瀬ふるさとまつりで「二俣瀬太鼓」を披露しました。また、校区内にある老人福祉施設の入所者の方との交流活動でも太鼓演奏を披露しています。どこで演奏しても、息の合ったばちさばきと力強い演奏で地域や施設の方々を魅了しています。

厚東小学校では、竹太鼓が中心の太鼓活動を行っています。地域との合同運動会やふるさとまつりの前夜祭でも演奏を披露しました。運動会では、中学生や地域の方々との共演も演じています。

竹太鼓は見た目以上にとても難しく、息を合わせないと音質が乱れてしまいますが、子どもたちは素晴らしい集中力で、いつも見事な演奏をします。子どもたちの太鼓活動に、地域の方々の理解と期待はますます大きくなっています。



山口県PTA研修大会



「豊生苑」での交流会



地域との合同運動会

成果と課題

各学校に学校運営協議会が組織されたことにより、太鼓活動を通じた学校と地域の連携は一層進んでいます。また、「うべ協育ネット」を意識することにより地域間の連携も進んできました。

児童生徒は様々な形で地域に支えられているという実感をもち、自分たちが住んでいる地域に一層の愛着を感じるようになりました。

太鼓活動を通じた地域のつながりをもとに、今後、更に児童生徒の交流、学校と地域、地域同士の連携が深まるようにしていくことが必要と考えています。

今後の取組

「うべ協育ネット」に取り組み始めて4年目となります。ネットワークが徐々に広がりを見せ、軌道に乗りつつありますが、今後も成果と課題をしっかりと検証し、活動が継続され、深化・充実するよう工夫と改善を加えながら、更なる地域の活性化につながるようになっていきたいと考えています。